

宮城県感染症発生動向調査情報(第39週)

宮城県【平成25年10月07日】発行

宮城県保健環境センター

- 2013.9.23 ~ 9.29 ・ 第39週 -

TEL (022)257-7228

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保健所							宮城県(含む仙台市)						
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第36週	第37週	第38週	第39週
水痘	1 0.20	2 0.20		1 0.50	1 0.33			12 0.46	17 0.29	2,606	→	→	→	
流行性耳下腺炎		1 0.10		2 1.00			2 1.00	5 0.19	10 0.17	870	→	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	21 4.20	13 1.30	2 0.40	11 5.50	10 3.33	2 0.40		48 1.85	107 1.84	12,593	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病	18 3.60	42 4.20	18 3.60	5 2.50	8 2.67	9 1.80		118 4.54	218 3.76	3,549	◎→	◎→	◎→	◎
伝染性紅斑					1 0.33			8 0.31	9 0.16	480	→	→	→	
突発性発しん		5 0.50	4 0.80	2 1.00	4 1.33	5 1.00		10 0.38	30 0.52	1,444	○→	レ→	○→	○
ヘルパンギーナ	1 0.20	12 1.20	4 0.80		6 2.00	3 0.60	3 1.50	19 0.73	48 0.83	1,973	◎→	◎→	◎→	○
インフルエンザ											→	→	→	
咽頭結膜熱		1 0.10	1 0.20					6 0.23	8 0.14	676	→	→	→	
流行性角結膜炎								2 0.33	2 0.17	129	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4 0.80	8 0.80	1 0.20	7 3.50	3 1.00	9 1.80		16 0.62	48 0.83	3,812	○→	○→	○→	○
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎	1 1.00	2 2.00		2 2.00				6 6.00	11 0.92	716	→	→	→	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症	2 0.40	4 0.40	6 1.20	8 4.00	10 3.33	9 1.80		19 0.73	58 1.00	652	○→	○→	○→	○
拡張疾病	1 1.00	4 4.00	3 3.00	1 1.00			1 1.00	9 9.00	3 3.00		：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向			
不明発疹								2 2.00			【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/			

今週の全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核
 - 塩釜管内 女性1名(第37週)、男性1名
 - 大崎管内 女性2名
 - 石巻管内 男性1名、女性1名
 - 仙台管内 男性1名、女性2名
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)
 - 仙台管内 女性1名
 - 腸管出血性大腸菌感染症(O26)
 - 大崎管内 男性1名、女性1名(関連)
 - 女性1名、男児*1名、女児*1名(関連)
- パラチフス
 - 仙台管内 女性1名(推定感染地域:海外)
- 4類感染症: レジオネラ症
 - 仙南管内 女性1名
 - 塩釜管内 男性1名
- 5類感染症: アメーバ赤痢
 - 塩釜管内 男性2名
- 梅毒
 - 仙台管内 女性1名
- 風しん
 - 石巻管内 女性1名(第38週、臨床診断例)
- クロイツフェルト・ヤコブ病
 - 仙台管内 女性1名(第37週)

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

[手足口病]

仙南、塩釜、大崎、栗原、登米、仙台管内で警報継続中。

【病原体検出情報】

～保健環境センター～

腸管出血性大腸菌感染症患者より

- 登米管内 第38週採取分 腸管出血性大腸菌O型不明 2件
- 大崎管内 第39週採取分 腸管出血性大腸菌O26 2件(関連)
- 腸管出血性大腸菌O26 2件(関連)

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第37週採取分 (9.9～9.15)	第38週採取分 (9.16～9.22)	第39週採取分 (9.23～9.29)
RSウイルス	5件	3件	1件
エンテロウイルス	1件	0件	0件

[RSウイルス感染症]

RSウイルス感染症には警報・注意報基準値は設定されていないが、主に仙台市管内で患者報告が多く、また仙台医療センターウイルスセンターでもRSウイルスの検出が続いているので注意を要する。

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第37週)

(国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.95)、島根県(0.32)、京都府(0.08)である。**RSウイルス感染症**: 報告数は3,469例と3週連続で増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約74%を占めている。**咽頭結膜熱**: 報告数は横ばいであったが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は大分県(3.19)、宮崎県(1.86)である。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**: 定点当たり報告数は第34週以降増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は鳥取県(2.89)、群馬県(1.66)、山口県(1.60)である。**感染性胃腸炎**: 定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別の上位3位は大分県(7.50)、熊本県(6.68)、島根県(6.36)である。**水痘**: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は新潟県(1.00)、福岡県(0.83)、宮崎県(0.83)である。**手足口病**: 報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は北海道(12.73)、新潟県(10.51)、長野県(8.02)である。**伝染性紅斑**: 報告数は増加した。都道府県別の上位3位は富山県(0.83)、宮城県(0.14)、岩手県(0.13)である。**百日咳**: 報告数は増加した。都道府県別の上位3位は佐賀県(0.09)、新潟県(0.07)、沖縄県(0.06)である。**ヘルパンギーナ**: 報告数は第31週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は新潟県(3.92)、北海道(3.50)、岩手県(2.83)である。**流行性耳下腺炎**: 報告数は増加した。都道府県別の上位3位は福井県(1.41)、福岡県(0.85)、高知県(0.80)である。**マイコプラズマ肺炎**: 定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位2位は山形県(1.10)、群馬県(1.00)、岡山県(1.00)、高知県(1.00)である。

* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。()内の数字は定点当たり報告数となります。